

検討項目			令和7年度取組	前年度3月	4場面の取組				4月	5月	6月	7月	8月	9月									
					日	入	急	看															
① 現状分析・課題抽出・施策立案	(1) 地域の医療・介護の資源の把握	地域の医療機関、介護事業所等の住所、連絡先、機能等を把握し、その情報と合わせて、リストやマップを作成、活用する	○平塚市の医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用	○					わくわくマップの運用(平塚市ホームページ)										継続				
			○市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」を更新する。	○					ひらつか介護サービス(医療対応)一覧の更新、検索ツール										継続				
			○「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新する。	○					介護タクシー・福祉有償運送情報一覧の更新										継続				
			○ケアマネが使用する連絡票、入院時退院時情報提供取扱窓口の更新		○				連絡票・入院時退院時情報提供票窓口の更新										継続				
			○連携支援センターホームページの充実（研修の情報発信、ブログ、Facebookの更新）	○					平塚市在宅医療・介護連携支援センターホームページの充実										継続				
			○訪問看護Naviの作成	○					関係者との打合せ・作成														
	(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う	○平塚市在宅医療介護連携推進協議会の意見聴取と協議 3回 また、市の認知症施策等についての検討を行う。										第1回										
			○在宅医療・介護連携に係る課題抽出や対応策の検討を行う。 (定例会 1回/2月)						隔月第3(木)定例会での課題抽出										検討する議題の量が多いため、10月から毎月に戻す。				
	(3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する	○終末期における意思決定支援方法のひとつとして「ひらつか在宅介護生活サポートガイド」の活用を支援する。					○	ひらつか在宅介護生活サポートガイドの普及啓発										アンケート結果をもとにした、配布先、研修方法の変更、改善の実施を検討した。				
			○高齢者施設施設看取りについての普及啓発を実施する。					○	施設看取りの普及啓発										施設看取りに関して、研修の体裁をとり、どのように支援するかを検討した。				
			○障がい者も含めた「在宅医療に必要な連携を担う拠点」の構築についての国の指針について、実現の可能性を検討する。						在宅医療に必要な連携を担う拠点について検討する										継続				
			○medical B.I.G.net等ICTツールを用いた医療と介護の情報連携について検討する。			○			ICTツールによる医療・介護情報の連携について検討する										医療と介護の事業者から、介護度やケアプランの参照が、介護情報基盤を通じてできるようになる。				
② 対応策の実施	(4) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の対応を行う	○在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の運営・医療・介護関係機関に相談の調整及び連携を行う。	○					平塚市在宅医療介護連携支援センターでの相談実施										継続				
			○参考となる相談、解決策を平塚市在宅医療介護連携支援センターのホームページ上に掲載する。	○					相談・解決策をホームページに掲載										継続				
			○各研修会や管理者連絡会などで相談事例の情報共有を行う。	○					連絡会		連絡会		連絡会										
	(5) 地域住民への普及啓発	在宅医療・介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する	○地域住民への普及啓発事業として講演会を実施・包括支援センター及び市内団体機関等と普及事業を実施。 (例：もしバナゲーム等) 9/30もしバナ				○	○						もしバナ									
			○YouTubeチャンネル「介護サービスのあれこれinひらつか」に医療サービス（薬剤師編）の動画作成及び配信	○					動画の作成										研修会を実施し、そこで動画をお披露目する。				
			○介護予防教室等地域からの依頼で講義を行う。（随時）												随時								
	(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援	情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する	○情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」の活用を支援する。	○			○		情報共有ツール(ひらつか安心ファイル・ひらつかあんしんカード)														
			○ひらつか在宅介護生活サポートガイドの共有を図る。					○	サポートガイドの在宅医療・介護の現場への展開の支援														
			○medical B.I.G.netを用いた医療と介護の情報連携について協力する。			○			medical B.I.G.net運営会議への参加														
	(7) 医療・介護関係者の研修	地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。必要に応じ、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う	① 多職種の連携研修 1回 ② グリーフケア研修 1回 7/15 ③ 高齢者福祉施設職員に対する看取り研修 2回 9/12 9/19 ④ サポートガイド研修 2回 ⑤ 薬剤師との情報交換会 1回 ⑥ 感染症対策施設向け研修 3回 6/13 7/18 8/8 ⑦ 皮膚トラブル（褥瘡予防）セミナー 1回 ⑧ BCP基礎講座 1回 7/3	○			○	○					グリーフ		施設みとり								
4場面毎の取組の数					11	3	3	5															
評③ 価対 応 改 善 の	事業全体の目的を明確化しつつ、PDCAサイクルに沿った取組を実現する		チェック 計画策定		協議会による評価											チェック	協議会による中間評価						

\* 4場面の取組…日→日常の療養支援、入→入退院支援、急→急変時の対応、看→看取り